

氷見市地域おこし協力隊

活動報告

令和8年3月

第8期生 下野 さつき

自己紹介

1991年生まれ兵庫県尼崎市出身。

氷見市地域おこし協力隊 移住推進員

令和6年3月1日に任命される。

大阪移住フェアではじめて氷見市を知り

移住体験ツアーで初来訪し氷見に一目ぼれ。

小学生の娘と氷見市阿尾に住む。

個人活動としてハンドメイド作家としても活動中。



私のミッション

移住推進員

移住相談、主に子育て世帯向けの移住促進を図る。SNSなどでのくらしの情報発信。

空き家バンク運営

空き家の登録業務。持ち主の方の相談から、内覧希望者への物件案内など。

移住者取材と記事掲載

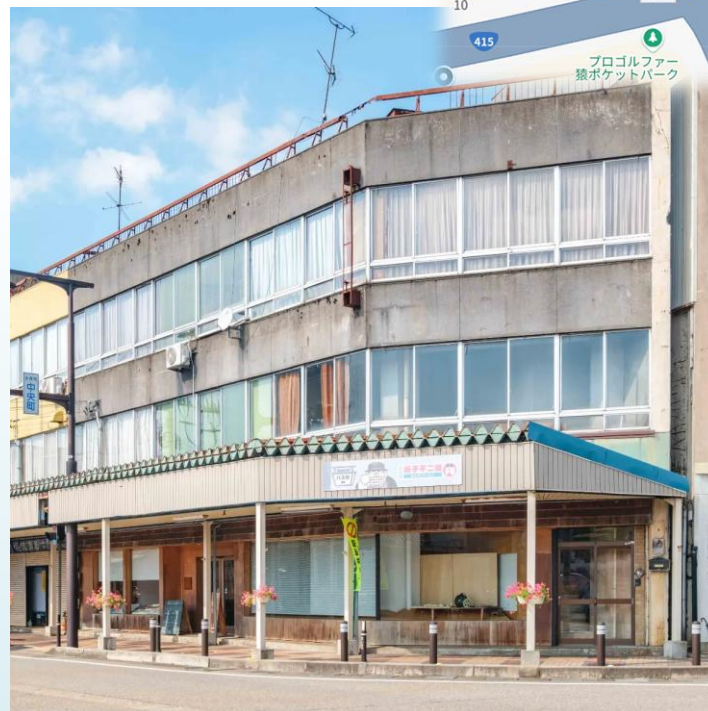
市内各地を取材しみらいエンジンホームページの記事に掲載。

みらいエンジン 氷見市IJU応援センター

みらいエンジンの事務所は、中央町商店街の一角にあります。氷見市の地域おこし協力隊OBの方と3人で運営しています。

IJU応援センターは移住に関する様々な支援を行っている民間委託組織です。

- ・ 移住相談（空き家相談）
- ・ 空き家バンクの運営
- ・ 移住体験ツアーの実施
- ・ 移住者交流会の主催
- ・ 全国移住フェアへの参加
- ・ SNSや記事を使って発信
- ・ ミーティングスペース
- ・ 地域交流の場



ホームページ記事

氷見市内各地で取材をして写真撮影～文章を構成。子育て親子向けのくらしの記事を発信しています。移住検討の方に向けて参考になるような内容をこころがけています。（R6.4～R8.4月累計59件）

地域行事への参加、お店の取材、作業体験など。何気ない日常や氷見の季節の移り変わりを感じてもらえるようにくふうしています。

みらいエンジン
ホームページはこちら
<https://himi-iju.net/>



2024.06.28

氷見のTheBoon（ザブーン）カフェ
は子連れにおすすめ！！



下野さつき
移住相談員



こんにちは！みらいエンジンスタッフ（地域おこし協力隊）の下野です。

今回は氷見の島尾海岸、目の前にあるオシャレなカフェ、**TheBoon（ザブーン）**さんへ行ってきました。氷見線島尾駅から徒歩7分、氷見市海浜植物園

記事からパンフレット掲載へ



The Boon

オープン

「Boon」は英語で恵み、恩恵、おもしろい、愉快なという意味。食べ物の恵みに感謝して愉快でたくさん人の思いの場にあるようにという思いを込められています。これにもうひとつ、海の音「ザブーン」をかけたのが店名の由来。お店があるのは波の音が心地よく聞こえてくる最高のロケーション。永見に U ターンした村上里佳子さんはオーストラリアでカフェ文化を学んだ後、東京の有名レストランで修行。富山と日本を一度離れたからこそ改めて感じた日本の良さや永見の恩恵を受けて、地域に愛されるお店を目指し、The Boon をオープンしました。店内にはキッズコーナーやキッズメニューなどを親子で来店しやすい店づくりが好評です。

場所 / 永見町集落 1724
営業時間 / ランチ・カフェ 11:30 ~ 18:00
ディナー 17:30 ~ 21:00 (要予約)
定休日 / 水、火曜 SNS @theboon_

MAP → 01



sol & mar

ソルアンドマー

店名は「太陽」と「海」を表し、その名の通りあたかで居心地の良いカフェ。お店があるのは中心市街地から少し車を走らせた余川という地域です。こちらのお店は元々「いわさきストア」という地域に愛された商店でした。閉店して空き店舗となっていたところを同地区に移住してきた青森さんがセルフリノベーションして活用。自身も子育てをしている経験から、キッズコーナーなど子連れで訪れやすい工夫がされており、地域の子育てに定評にも人気です。商品にはオーガニック・フェアトレード等、自身が使ったよかつたもの、繋がりのあるショップのものを厳選。店主の人の衣れた店内には地域内外から老若男女が集まります。

場所 / 永見町余川 264 営業時間 / 13:00 ~ 17:00
定休日 / 土・日・月・火 (土・火は不定期で営業)

SNS / @solandmar_hire

MAP → 02

IJU応援センターの移住パンフレットがリニューアルするに伴い、私の取材先と取材写真を採用していただきました。どちらの店舗もキッズスペースやキッズメニューがあって子育てにやさしい街というアピールに繋がれば、と思います。

記事から入居へ



https://himi-iju.net/himishare_s/

【物件紹介】氷見のシェアハウスに住んでみませんか？



シェアハウスとして紹介してほしいとオーナーさんから掲載依頼がありました。空き家でなく新築だったため、ホームページの記事で紹介。（R6年6月掲載）アクセス数も多くそれまで入居者0人→掲載から半年間で計4人に増えました。

新聞でとり上げてもらった効果

新聞見たよ！
がんばってね～



7月8日付富山新聞取材時の様子

新聞に掲載してもらったことにより、地域の方々にどんな活動をしているのか知ってもらったきっかけに。「新聞見たよ、がんばってね」と声を掛けてもらえるようになりました。

ハンドメイド活動（個人活動）

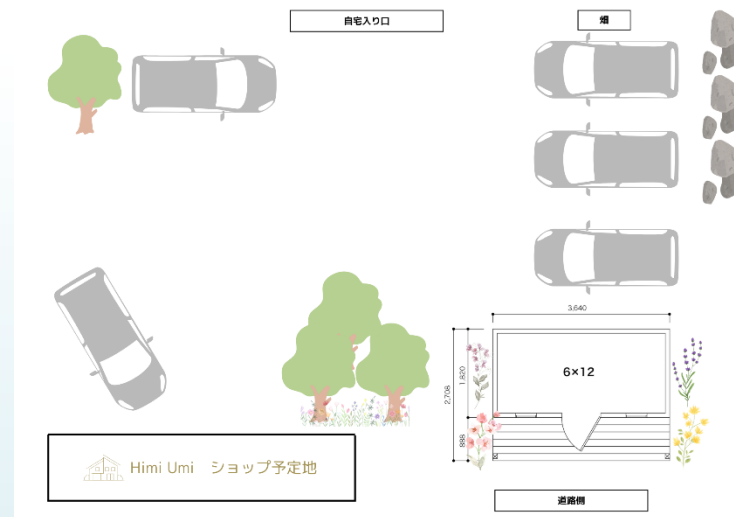
Himi Umiとしてシーグラスアクセサリーを制作。
氷見のきれいな海を未来の子供たちに残したいという思いから、漂着ガラス片であるシーグラスを使ったアクセサリーを作っています。県内各地で開催されるイベントなどに出店、オンラインショップでも販売中。退任後は自宅である氷見市阿尾で小屋ショップを建て、開業する予定です。



ワークショップの様子



出店時の様子



開店予定地



[←インスタグラムアカウント](#)

子育てリーフレット

ラフ画

ひみでこぞだて 13



ひみでこぞだて 13



表面



裏面

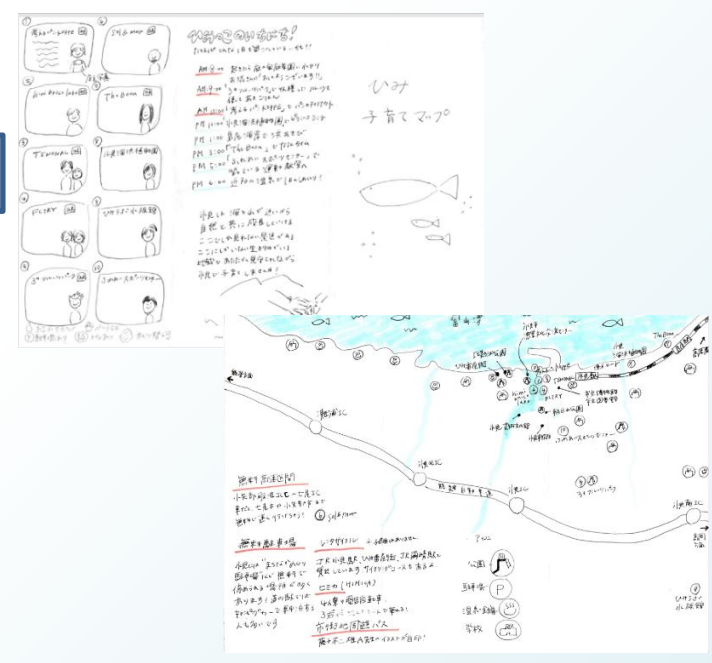
子育てリーフレット (チラシ)

みらいエンジンの発行物で、氷見市が子育てに力を入れていることがぱっと一目で見てわかるようなチラシを企画制作。移住フェアなどで子育て支援や教育に関する紹介や案内に使ったり、文化館等の施設に置いてもらう目的です。チラシのデザイン構成を企画し、デザイン会社へ制作を依頼して作成しました。

ひみ子育てマップ



いなまち子育てマップを参考に制作中



「ひみ子育てマップ」

子育て世帯をもっと氷見へ誘致するためにはどんなコンテンツがあれば良いかと考えた末、自ら企画したもの。
みらいエンジンの記事に掲載してきた子供にやさしい店舗や子育て施設をマップに載せて、移住検討者のみならず氷見在住親子にも楽しんでもらえるような内容の工夫をしています。
令和8年度夏頃に発行予定です。

移住者交流会

年2回開催されるみらいエンジン主催の移住者交流会の企画・運営を行っています。過去にはみかん狩り&移住者交流会や海の日移住者交流会、焼き芋de移住者交流会を実施。多くの方に参加していただきました。今後も企画予定です。



みかん狩りと移住者交流会



海の日移住者交流会

あおののうち DIYプロジェクト

コンセプトは「みんなで、楽しく」をテーマに掲げたプロジェクトで氷見市にある被災空き家を改修するイベントです。企画と広報を担当。月1回の開催でR6.10月から延べ11回、計38名の方に参加していただきました。



ボランティア募集中



下野さつき

あおののうちDIYプロジェクト第3弾、第4弾を開催しました！

2025.03.28

Webデザイン活動

移住者交流会で広告宣伝する際に、使用するバナーのデザイン企画や、ほか協力隊員のイベント開催時のチラシ作成の依頼を受けてデザイン制作をしています。退任後のなりわいのひとつにできるように昨年度末からWebデザイン講座を受講し、より訴求効果のあるデザインを製作できるように勉強中です。



2026
4/26 (日) 4/28 (火) 5/1 (金) 5/5 (祝)

時間 10:00~12:00 (受付9:45)
中学生以上 小学生(未就学児無料)
料金 1000円 500円 (保険代込)

場所 氷見市内の竹林

申込方法 右記のQRコードから「申込フォーム」へアクセスしてください
<https://forms.gle/6NYgRLk8g9wnsaUA> >>>

【主催】 Uお竹林ネットワーク | 050-1725-5233 | teamvivabamboo@gmail.com

11/22 sat 10:00-12:30
うなみんフェスティバル in 氷見 2025
旧灘浦小学校と宇波忠霊塔付近 〒935-0422 氷見市宇波1194

フォークソング弾き語り
コーザフローコンサート

飲み物もあるよ! 鮮魚・野菜販売 惣菜販売 (赤飯、昆布巻、魚干物、おでん、豚汁等)

灘浦みかん販売 みかんスイーツ

灘浦みかんを使ったゲーム 宝探し ビンゴゲーム大会

フリママーケット 氷見シグラスを使ったワークショップ

※豚汁200食、ビンゴカード100枚限定先着順です。

みらいエンジン移住者交流会バナー ひみ竹林ネットワークチラシ

宇波地域イベントチラシ

活動してみて・・・

- ・1年目はいろいろな方へ自分を知ってもらうこと、氷見をよく知るために様々な地域へ出向くことを目標にして活動しました。
- ・多くの方と接する中で、協力隊だけでなく氷見市をPRしたり、移住者を増やしたいと思っている方はたくさんいるということを知りました。
- ・イベントを企画しても集客の難しさや、結果につながるかどうか、などの課題を実感しました。
- ・やりたいことと、求められることの双方の一致が重要であると感じました。